

# マダラウミスズメ

チドリ目ウミスズメ科

石川県カテゴリー

情報不足

国カテゴリー

情報不足

*Brachyramphus marmoratus* (Pallas)

## 選定理由

かつては冬期沿岸海上に見られたが、近年減少が著しい。

## 形態

全長24cm、雌雄同色。東部、背など体の上面は黒色、ノド、胸、腹は白色。クチバシは他のウミスズメ類より細く長めである。

## 国内分布

冬鳥として北海道、東北、北陸の沿岸、沖合に渡来する。北海道東部やオホーツク海沿岸では夏期に幼鳥が観察されており、繁殖が予想されている。

## 県内分布

冬鳥として加賀地方の海岸を中心に小数が渡来するが、能登での観察例は少ない。

## 生態

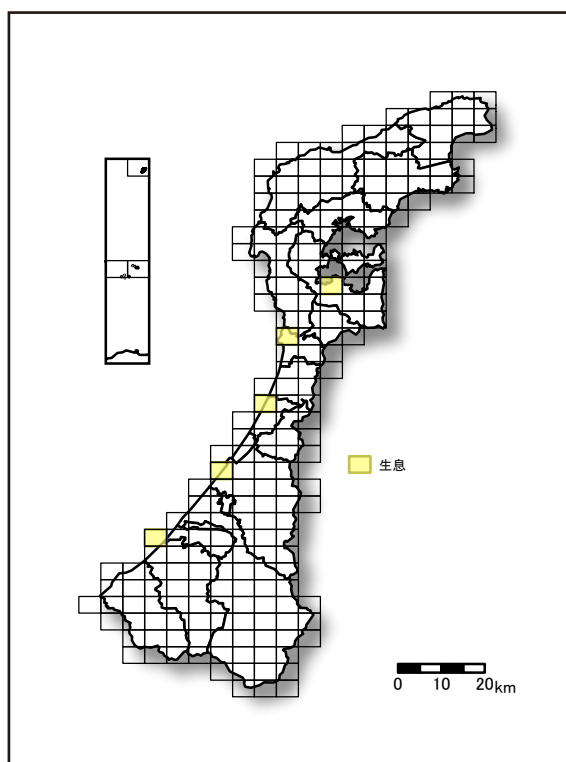
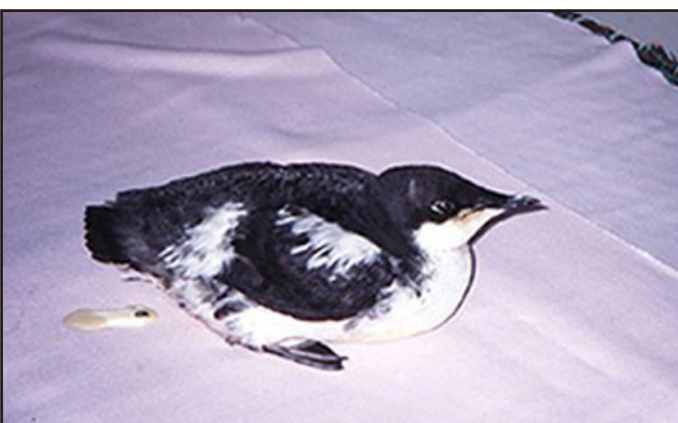
沿岸、海上に生息し、潜水して小魚などを捕る。

## 生息地の条件

沿岸海上に越冬するが、内湾ではほとんど見られない。

## 生存の危機

刺し網など漁業による混獲。重油流出などによる海洋汚染が考えられるが、観察例の少ない海上の鳥であり、実態はよく分っていない。(A)



県内の分布